

# 石川県 健民運動

# ※ かわら版

11月号

《24. 11. 30第199号》



藤袴の花 (金沢城公園 10月27日)

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。  
～ 家族とのふれあいを  
大切にしましょう ～

発行：石川県健民運動推進本部  
金沢市鞍月1丁目1番地  
県民文化局県民交流課内  
TEL 076-225-1366

インターネット

twitter @kenmin\_undou

E-mail kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

**鼓動** 集まれ！！パワー全開です。 石川県婦人団体協議会 副会長 木下 志津枝

**特集** 子どもドリームフェスティバル夢の実現

◇ ミュージカル劇団「こんぺいとう」ほか

**環境・文化活動の推進**

◇ ふるさと文化再発見！「月津校下・史跡・遺跡めぐりウォーク」実施

◇ 平成25年度「ツバメのお宿シール」完成

**青少年健全育成活動の推進**

◇ 平成24年度「青少年ボランティア賞表彰団体・個人」決定

**健康体力づくり活動の推進**

◇ 第18回石川県健康クラブ会長等役員会

**健民運動活動紹介・奨励コーナー**

12・1月の健民運動カレンダー

「あいむ」だより

**薫風** 青年団活動を通じて～深まっていく絆～ 石川県青年団協議会 副会長 宮 義一



次年度用ツバメのお宿シール

# 鼓 動

集まれ！！ パワー全開です。

石川県婦人団体協議会  
副会長 木下 志津枝



10月6日、志賀町富来活性化センターにおいて中能登地区石川県女性県政会議が開催されました。この県政会議は、石川県の「加賀」「金沢」「中能登」「能登」の4地区で、地区の会員と知事や県幹部などが一堂に会して県政について話し合うものです。中能登地区では、約390名の会員が参加して各市町から様々なテーマの発表がなされました。今回の会議は我が志賀町が開催地ということもあり、地区の皆さんには多大な協力をお願いしました。会議の課題からは少し離れますが、準備や開催に当たってのエピソードを二つご紹介したいと思います。

一つめは、来場者に気持ちよく使用していただこうと、控室やトイレなど20箇所に、ちょっとした野の草花を飾りました。会員の皆さんで持ち寄った花や花瓶で工夫を凝らしました。配置前に所狭しと並べた作品は、ススキなども織り交ぜて圧巻の趣があり秋らしく、それは見事な作品になりました。

二つめは、町外からの来場者に志賀町をアピールするため、新たに考案された「志賀丼」をひと工夫して食べていただくことにしました。予算の関係もあり、会員の皆さんに奮闘していただき、いぎすに茗荷をアレンジした汁物と色鮮やかな漬け物、そして、温かいお茶を心を込めて添えさせていただきました。これらの工夫が、婦人会の結集力の強さを改めて確認するきっかけとなり、大きな感動をもたらすとともに、やはり「必要な組織」との認識を深める結果となりました。人口減少、少子高齢化が叫ばれるこの地区で、県の婦人団体協議会理事6年目を迎えた私にとって、地域の活性化は「女達の力」に尽きると感じた瞬間でもありました。

会議は各市町から生活に根付いた発表や提案があり、県側からは調べ尽くした回答をいただきました。行政からの協力も極めて手厚く、感謝！感謝！で婦人会と行政がタッグを組むと素晴らしい相乗効果が生まれることを実感しました。会議では課題も残りましたが、一つ一つ前向きに捉えて前進して行きたいと考えています。また、会員減少等の厳しい現実もありますが、一人でも多くの理解者の力を結集して、パワー全開で進みたいと思います。



# 特集 子どもドリーム フェスティバル夢の実現

## ■「子ども達の夢」が、今どんどん実現しています！！

健民運動推進本部が、自発的で創造性豊かな青少年の育成を図るため実施しているこどもドリームフェスティバル事業。今年度の5つの夢のうち4つが10月から11月にかけて実現しました。

### ミュージカル劇団「こんぺいとう」 手作りのミュージカルを発表したい！

10月14日(日)、子どもミュージカル劇団「こんぺいとう」が小松市民センターにおいてミュージカルを発表して、一人一人ちがう子ども達の個性が集まって、こんぺいとうのようにきらきらと輝くステージを見せてくれました。音楽が大好きな子ども達の「夢」を表現するエレクトーン、鉄琴、タンバリンの合奏。かわいい透き通った歌声、ペアで息のあったキッズダンス。一人一人の個性が輝きを放つ素敵な小さなミュージカルを楽しませてくれました。10月20日は、「子育て支援メッセ」のステージ、11月18日には、「せせらぎの郷・紅葉まつり」にも出演しました。



### メロン幼稚園 本格的な舞台で日舞の発表をしたい！



10月23日(火)、メロン幼稚園の園児達の日舞発表の夢が金沢市の尾山神社拝殿で実現しました。子ども達の晴れ姿を記録するためカメラやビデオを手にした保護者やご家族100人以上が集まり、園児達が一年間練習してきた日舞の舞台を見守りました。男児は「お地蔵さんとかからす」、女児は「紙人形」の愛らしさが溢れる踊りでした。伝統あるすばらしい「舞台」での発表はテレビニュースにも放映され、多くの皆様に見ていただくことができました。

## ドリームパワーdeジュニア ☆リズムダンスチーム

## 大きなステージでリズムダンスを踊って たくさんの人に見てもらいたい！

10月20日(土)、石川県産業展示館3号館で開催された「子育て支援メッセいしかわ2012」((財)いしかわ子育て支援財団主催)が開催され、ステージ発表で、「ドリームパワーdeジュニア☆リズムダンスチーム」の35人が夢の実現に挑戦して、たくさんの観客から大きな拍手をもらいました。発表曲目は「すてきな日曜日」「希望の唄」「GEE」「ちっぽけな勇氣」「ミッキーパラパラ」の5曲。チームはこれまで北國新聞赤羽ホールなどでも発表してきましたが、今回は25分間のステージで、思う存分、大好きな曲を元気いっぱい踊りきり、たくさんの人に楽しんでもらった充実感にあふれていました。



## 七尾市立石崎小学校2年生 ビー玉などを転がすからくり装置を作りたい！

11月7日(水)、七尾市立石崎小学校の学習発表会「石小のつどい」が開催され、2年生34人が夏休み中から、地域や保護者の方々の熱心な協力で完成した、「ビー玉などを転がすからくり装置」4点を発表しました。講堂でのプレゼンテーション後、それぞれ玄関ホール、ランチルームなどに移り、4つの装置の実演が行われました。各装置は、ドミノ倒しを活用したり、風船を膨らませるもの、くす玉を割る仕掛けや石崎の奉燈祭りの奉燈を模したのものなど地域の特色を活かした多彩な工夫が凝らされたものばかりでした。各製作グループの代表児童の説明後にスタートの「ビー玉」が転がされると、上級生の児童はもちろん、保護者の皆さんも興味津々に装置の動きに見入りました。緻密に考えた仕掛けが思いどおりに動く様子を見つめる子ども達の目の輝きやが、とても印象的でした。



# 環境・文化活動の推進

## ふるさと文化再発見！ 月津校下・史跡・遺跡めぐりウォーク 実施



月津小学校を出発



十村屋敷跡での説明と学習



蓮如上人御旧跡見学



完成・配布された散策マップ



興宗寺の明治天皇御座の間

10月27日(土)、雲一つない秋晴れのもと、健民運動推進本部が「ふるさと文化再発見事業」で助成している小松市月津校下公民館の史跡・遺跡めぐりウォークが実施されました。午前8時、月津小学校グラウンドに集合した参加者は、5年生と6年生を中心とする児童約20人とその保護者のほか、一般町民も含めて合計約90人となりました。最初に月津校下公民館の高辻館長からコースの説明を受け、史跡・遺跡めぐりの小冊子が配布され、歩行の注意と行動の班編制がなされました。コースは、「月津小学校→一里塚→蓮如上人御旧跡→十村屋敷跡→牛鼻山「興宗寺」→明治天皇小休所→業ノ浜刑場跡→茶臼山塚古墳跡」など地域の歴史文化を一巡りするもので、各史跡の説明は各地区の公民館長さんが担当しました。参加した児童は、メモをとりながら、郷土の文化や史跡を熱心に勉強しました。保護者の皆さんも、身近な地域の歴史や文化を再発見し、「近くにおいて、いつも目にしていながら、初めて歴史や文化を知りました」と、感動しきりでした。

次世代を受け継ぐ児童が「ふるさと月津」に脈々と流れる歴史や文化を理解し、地域の自然や環境を保全する意識を高めることができた素晴らしいウォークとなりました。最後に集会場でQ&Aや「子ども史跡クイズ」を実施しました。

## ふるさとのツバメ総調査 平成25年度 ツバメのお宿シール 完成



「ツバメのお宿シール」の入賞者は右のとおりです。

来年度のふるさとのツバメ総調査で使用する「ツバメのお宿シール」が完成しました。原画は応募のあった1,445点の中から金沢市立小坂小学校6年の西村亮平さんの作品が採用されました。「ツバメのお宿シール原画コンクール」の入賞者は右のとおりです。

最優秀賞	金沢市立小坂小学校6年	西村 亮平
優秀賞	川北町立中島小学校5年	亀田 早彩
佳作	金沢市立小坂小学校6年	田中 愛奈
佳作	珠洲市立みさき小学校6年	野村 彩衣
佳作	かほく市立金津小学校6年	宮谷 翠
佳作	白山市立蕪城小学校6年	二木 愛実
佳作	野々市市立富陽小学校6年	米田みつき
佳作	能登町立鶴川小学校5年	岩谷 惇也
佳作	能登町立松波小学校6年	樋下 光

# 青少年健全育成活動の推進

平成24年度 青少年ボランティア賞表彰団体・個人 決定



県庁での選考委員会 10月1日

健民運動推進本部では平成7年から、地域において自主的かつ積極的に他の模範となるすぐれた行為・活動を実践し、また、ひたむきに努力している青少年又は青少年団体の功績を顕彰し、次代を担う心身ともにたくましい青少年の育成を促進するため、「石川県健民運動青少年ボランティア賞」の表彰を行っています。今年度は10月1日(月)県庁11階1107会議室において選考委員会を開催し、11団体と1個人の受賞を決定しました。このうち7団体が、鵬

学園高等学校(七尾市)インターアクトクラブをはじめとする高等学校関係の団体で、若者へのボランティア活動の定着がうかがえる結果となりました。

## ◇ 平成24年度青少年ボランティア賞受賞団体・個人及び活動内容 (団体の部)

団体名	活動内容
加賀市立 山中小学校 交通少年団	昭和51年より毎朝登校時に6年生の団員児童が校区内の交通量の多い地点に交通安全の旗を持って立ち、児童や地域の人々が安全に横断歩道を渡ることができるよう、安全確認を行っている。永年にわたる歴代6年生団員の活動は在校児童や地域の子どもの善行の鏡となっている。
金沢市立 新竪町小学校 6年地下道掃除	昭和46年から金沢市鱒町交差点地下道で6年生児童が代々受け継ぎ、朝の授業開始までの15分間清掃活動を続けている。土曜日と日曜日、年末年始の休みを除き、夏季休業等長期休業中も毎日登校して実施する清掃は下級生の模範となり、地域住民から感謝されている。
金沢市立 米丸小学校 児童会運営委員会	平成22年に6年生の自主的な活動「米丸スマイルあいさつ隊」として活動を開始し、昨年度「米丸いきいきあいさつレンジャー」と改称し、「あいさつ日本一」を目指す活動を継続している。昨年は東日本大震災の支援活動として未使用文具の寄付やヒマワリの種を贈る活動を実施した。
珠洲市立 若山小学校	日常的にプルタブを収集して近隣のデイサービス施設「やまびこ」へ車椅子を寄贈するとともに、訪問や交流活動を行っている。毎年の地域行事参加や地域の独居老人とのふれあいをおして、思いやりや感謝の心、地域を愛する心、伝統を受け継ぐ使命感などが育っている。
石川県立 加賀高等学校 生徒会執行部	平成14年度から、学校で地元の小学生を指導しながらペチュニアを育て、苗や花を近隣の小学校や公共施設に配布している。昨年「KOT(加賀高お掃除隊)」等も開始し、地域の環境美化に努め、地域に信頼され、愛される学校を目指している。
石川県立 小松工業高等学校 吹奏楽部	平成15年度から南加賀地区の特別支援学校や医療福祉センター、保育園等を訪問して交流演奏会を実施している。視覚にも訴えるマーチングバンド演奏は、障害のある子どもやその保護者の評価を得ている。地域行事等にも年間50回以上出演し、地域の活性化に貢献している。
石川県立 寺井高等学校 吹奏楽部	平成17年度よりボランティア活動として演奏活動を行い、近隣の保育所や老人介護施設、小学校等を訪問している。その他、年間をおして公民館行事や茶碗まつりなどの地域行事において演奏活動を行い、継続的なボランティア活動をおして地域貢献を果たしている。

団体名	活動内容
石川県立 金沢辰巳丘高等学校 生徒会	平成18年から年2～3回、クラス単位又は部活動単位で、学校周辺の地域清掃活動を行っている。活動は生徒会が中心となって企画し、全校あげての活動として組織的に取り組んでいる。中心となる生徒会は清掃用具の準備や収集したゴミの分別など、地道な活動に熱心に取り組んでいる。
石川県立 宝達高等学校	平成13年度の吹奏楽部訪問演奏が契機となり、YOSAKOIソーラン同好会などの部活動を中心にボランティア活動が深化・発展した。近年は、「まちなかフラワーロード」の整備活動等、地域住民との協働作業や交流を推進するボランティア活動の活性化が顕著である。
石川県立 門前高等学校 生徒会	平成元年から毎年12月に学校で収穫したソバと地域の自然薯を使った「手打ちの門前そば」を輪島市門前地区内の特別養護老人ホームなどの福祉施設5箇所にて約700食届ける活動を継続している。お年寄りから大変喜ばれ、郷土の食文化の普及継承にも一役買っている。
学校法人七尾鵬学園 鵬学園高等学校 インターアクト クラブ	平成9年度から15年以上、地域の敬老文化祭での受付ボランティアを継続している。また、毎年24時間テレビの街頭募金、福祉施設での介護ボランティア、地域の養護施設での日曜喫茶ボランティアなどの様々な活動に継続的に取り組み、地域の行事の円滑な実施に貢献している。

〈 個人 の 部 〉

氏名	活動内容
中西 己琴 幸楼会 & 一座	家族が中心となり平成7年に結成した現代大衆舞踊グループ「幸楼会&一座」に小学校3年生から参加して訪問ボランティアを続けている。現在は仕事の傍ら、白山市、金沢市などの福祉施設や敬老会で歌謡舞踊の披露と入所者との会話など、心のこもった活動を続けている。

# 健康体力づくり活動の推進

## 第18回 石川県健康クラブ会長等役員会



田川会長のあいさつ

石川県健康クラブ協議会の一年間の活動を締めくくると「会長等役員会」が、11月13日(火)七尾市で開催されました。会場となった和倉温泉「のと楽」コンベンションホールには県内各地区の会長等約80人が参集して、今年度実施した各大会の報告や反省、会計報告などが行われました。最初に田川修身会長のあいさつがあり、健民運動推進本部の出席者から近況報告が行われて議題に移りました。美川グリーンスポーツクラブの米澤喜久子会長からは5月に実施された加賀地区交歓大会の報告がありました。次いで穴水町健康クラブの松田栄四郎会長が能登地区普及研修会報告と平成25年度の交歓大会の準備状況の紹介、更に酒井勇幹事から6月の普及育成研修会と10月の太陽と緑に親しむ健民祭での第45回交歓大会の報告がなされました。次年度事業については、田川会長から内定した県健康クラブの普及育成研修会と第46回交歓大会の開催日程が紹介されました。また、今回の役員会では、組織の拡大及び研修用DVDの配布方法、いしかわ総合スポーツセンター使用時のバス駐車場の改善などについて、率直かつ活発な意見交換が行われました。

# 健民運動紹介・奨励コーナー

## 健康体力づくり出前講座

### ハクイ村田製作所健康マイレージクラブ



10月10日(水)午後5時30分ハクイ村田製作所において「健康マイレージクラブ」の健康体力づくり出前講座を開催しました。参加者は、30代から50代までの男女18人で、準備体操として「健民さわやか体操」を実施し、腰痛と肩こりについての講義をお聴きしました。その後、タオルを使ったヨーガの実技に移り、手足の指先に刺激を与えて肩、腰、ひざの痛みを軽減するヨーガを行い、さらにヨーガの姿勢をいくつか体験しました。日頃意識していない筋肉の動きを実感することができました。講師は県レクリエーション協会の青山節子先生でした。

### かほく市子育て支援サークルネットワーク

10月25日(木)午前10時15分から、かほく市産業文化センターで「かほく市子育て支援サークルネットワーク」の子育て中のお母さんなど20人が参加して、出前講座が開催されました。「健民さわやか体操」の紹介や音楽に合わせて簡単なエアロビクス、クールダウンのストレッチなどの実技を実施しました。足首回しでは、毎日200回まわし、一箇月で8キロもダイエットに成功したとのこと。また、毎朝のお通じにも効果的だとか。講師は県レクリエーション協会の宮西好子先生でした。



### 津幡町総合型地域スポーツクラブ「つばた」



10月26日(金)午後1時30分から津幡町総合体育館で総合型地域スポーツクラブ「つばた」(早川尚之代表)の健康体力づくり出前講座「ウォーキング・カローリング」が開催され、40代から60代までの男性3人女性22人の計25人が参加しました。

「健民さわやか体操」や「手や腕の運動」、「白菜漬の要領での組み体操」でウォーミングアップした後、体育館に移動して、身体全体を使って少しハードな「ウォーキング」を20分間と「カローリング」の競技を30分間実施しました。参加した皆さんは、沢山のメニューで、楽しみながら脳と身体を鍛えることができ、大満足の時間を過ごすことができたようです。講座の終わりには、県レクリエーション協会の講師畠紀子先生に大きな拍手がおくられました。



◇第21回石川県民スポーツ・レクリエーション祭に参加しましょう！

1月の開催市町・期日・大会名・会場

開催市町	期日	大会名	会場	主管団体
白山市	1月20日	スキー・スノーボードフェスティバル	白山瀬名高原スキー場	NPO法人もんぜんスポーツクラブ

# 12・1月の健民運動カレンダー

H24. 11. 22現在

12/1 (土) ~9 (日)	「家庭の日」作品コンクール展示会 会場：いしかわ子ども交流センター七尾館（七尾市） 主催：健民運動推進本部
--------------------	---

12/1 (土)	13：30～健民桜名所づくり運動桜の保全管理講習会 会場：能登中島祭り会館（七尾市） 主催：健民運動推進本部
----------	--

12/2 (日)	13：30～健民桜名所づくり運動桜の保全管理講習会 会場：加賀市立三谷地区会館（加賀市） 主催：健民運動推進本部
----------	--

12/2 (日)	第24回スポーツ少年団バドミントン交流大会 会場：河北台健民体育館（かほく市） 主催：石川県スポーツ少年団
----------	---

12/2 (日)	第24回スポーツ少年団柔道交流大会 会場：石川県立武道館 主催：石川県スポーツ少年団
----------	--



西王母(ツバキ *Camellia japonica*)

12/2 (日)	石川県ゲートボール協会表彰伝達式・納会 会場：いしかわ総合スポーツセンター第1会議室 主催：石川県ゲートボール協会
----------	---

12/9 (日)	第41回スポーツ少年団剣道交流大会 会場：いしかわ総合スポーツセンター 主催：石川県スポーツ少年団
----------	---

12/15 (土) ~24 (月・休)	「家庭の日」作品コンクール展示会 会場：いしかわ子ども交流センター（金沢市） 主催：健民運動推進本部
------------------------	--

1/17 (木)	10：00～健民運動青少年ボランティア賞表彰式 会場：石川県庁11階1109会議室 主催：健民運動推進本部
----------	---

1/20 (日)	13：30～第15回子どもドリームフェスティバル 会場：石川県立音楽堂邦楽ホール 主催：健民運動推進本部
----------	--



菊(キク *florists' daisy*)

## 「あいむ」だより



\* 収集物（11月分）\*

＜使用済み切手など＞

統計情報室、医療対策課、生産流通課、農業安全課、職員労働組合、庶務課福利厚生室の計6件。ご協力ありがとうございました。

ご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがきにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。

\*お知らせ\*

### 専門家による「NPO個別指導」に助成しています！

アドバイザー(会計、税務、労務、登記などの専門家)からの実地指導を受ける費用を助成しています。

対象者：県内に事務所を有するNPO(任意団体OK)

対象経費：アドバイザーの謝金及び交通費

補助金額：対象経費の3分の2以内で、上限は2万円

※詳しくは、下記までお問い合わせください。

《問合せ先》

石川県NPO活動支援センター

金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ 7階

TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559

### いしかわNPO塾 12月の予定(毎月第2・4水曜日19時～21時開催)

12月12日(水) NPOの広報宣伝・徹底研究

12月26日(水) 今一度、NPO法人のつくり方、動かし方

場 所：石川県NPO活動支援センター「あいむ」会議室

参加費：無料

《NPO塾のお問い合わせ・お申し込み》

(特) いしかわ市民活動ネットワークセンター(i-ねっと)

TEL 076-223-6673 E-mail: [ishikawa@inetnpo.com](mailto:ishikawa@inetnpo.com)

URL: <http://inetnpo.com/npojuku/>



### 石川県NPO活動支援センター（あいむ）

〒920-0961 金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ7階

TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559 <http://www.ishikawa-npo.jp>

会議・打合せ等に「あいむ」をご利用ください！(会議室使用料 無料)

お問い合わせ、ご予約は上記「石川県NPO活動支援センター（あいむ）」までお気軽にどうぞ。香林坊地下駐車場をご利用の場合は、駐車料金の助成対象となる場合があります。

### どなたでも参加できる「桜の保安全管理講習会」

◇12月 1日 13:30～ 能登中島祭り会館（七尾市）

◇12月 2日 13:30～ 加賀市立三谷地区会館（加賀市）

お問い合わせ先 076-225-1366 健民運動推進本部



# 薫 風

## 青年団活動を通じて ～深まっていく絆～

### 石川県青年団協議会 副会長 宮 義一

石川県青年団協議会(県青協)は65年以上の歴史を持つ団体です。戦後の廃虚の中、荒廃した郷土の再生のため、青年らが立ち上がったのが始まりです。時代ごとの問題に目を向け青年の生活向上や社会問題などに取り組み、地域の活性化を目指しています。地域で育ち、地域と共に歩んで来た青年が手を取り合って人と人との「絆」を守っていく。それが青年団であり、それを取りまとめるのが県青協です。

伝統芸能や祭り、地域の特色を決める活動の多くに青年団の姿があります。地域に溶け込み、地域に根ざした活動の中で育まれた絆が青年団の母体であるため、その成り立ちには常に地域の大人たちの助けがありました。幼少時から地域の伝統芸能を修めていく中で、自分たちが次の世代を育てるのだという使命感を自然に自覚するようになり、やがては指導者へと成長していく。このサイクルにこそ、「これまで」と「これから」の地域の絆を作っていく大きな原動力が潜んでいると考えています。

青年団のネットワークは県内外にあり、お互いに学び合い、語り合う中で互いの文化や活動を知り、切磋琢磨し、それぞれの地元の活性化に繋がっています。また、ネットワークを生かして、能登半島地震や東日本大震災などの災害にもいち早く対応し、救援活動を実施することができました。

2015年、北陸新幹線が開通して利便性が高まり、石川県が益々発展していく中で「人と人の繋がり」を大切にし、地域コミュニティを支え、未来を担う人材を育てていくことがこれからの青年団の使命であると考えており、これからも微力ではありますが、地域に貢献できるように努めていきたいと思っております。



犀川地区夏祭り H24年度



大浦町秋祭り H24年度



北森本・南森本頭合わせ H24年度



宮城県女川町 津波で倒れたビル H23年度

毎月7日は「健康の日」です。  
～歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう。～



毎月第3日曜日は「家庭の日」です  
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～